

西高祭が終わりました。1年生の合唱コンクールのレベルも年々上がってきて素晴らしい歌声が聞かれました。2年生、3年生の展示や舞台、模擬店等もとても工夫されていて、いい文化祭だったと思います。最優秀賞を受賞した3年1組のモザイク画の熊本城は美しく壮大でひときわ目を引く作品でした。『FOR KUMAMOTO』というメッセージにはいろいろな気持ちがこめられていたと思います。

さて、大きな行事が1つ終わりました。7月1日から期末考査が始まります。そのあとには模擬試験も予定されています。気持ちを切り替えて、行事に注いだ爆発的なパワーを勉強に向けてください。



《1年生へ》

水曜日の『総合』の時間には、期末考査後の『大学見学』についての説明がされました。その目的についても説明されました。その後、終礼で、ある担任の先生は「今日の話を一言でまとめると、つまりは『やれ!!』ということだ」と言われたそうです。自分の将来の進路を見つけるために、今から努力しようということです。『大学見学』でいろんなことを見て、感じて、次に活かして下さい。

さて1週間後に期末考査が始まります。しっかり準備をしましょう。高校での初めての定期考査の中間考査の結果はどうでしたか。高校の勉強に慣れなくて、思うような結果が残せなかった人もいるかもしれません。中学校と比べ、学ぶ内容が少しずつ難しくなり、授業進度が速くなる高校では、授業の予習・復習をすることが基本になります。「**予習→授業→復習**」のサイクルを確立しましょう。まずは予習をきちんとし、授業に集中して取り組むようにしましょう。

《2年生へ》

学校の中心学年である2年生になってから2カ月が過ぎました。科目数や学習内容が増え、クラブ活動も一段と活発になってくる2年生では、自宅学習時間の配分など生活習慣を見直すことが必要になってきます。「帰宅時間、自宅学習開始時間、就寝時間、起床時間」を固定させ、無理のない生活習慣を築きましょう。「**小テストの勉強は必ずする**」「**宿題は必ずする**」「**毎日1時間は勉強する**」などの簡単にできる目標を設定して取り組みましょう。

《3年生へ》

受験勉強はいいスタートがきれたでしょうか。気持ちはあっても、部活動や学校行事などで忙しいために、なかなか十分な勉強時間が確保できない人もいますが、両立を目指して、部活動や学校行事に力を入れながらも授業に集中して、着実に力をつけていきましょう。西高祭では3年生らしくみんなの見本になるような活動がみられました。そのエネルギーを勉強に注いでください。

1学期から夏休みにかけては、受験生にとって1年間の中で基礎力養成期にあたります。次のようなことに気をつけて過ごしましょう。

- ①志望校を決めて学習目標を設定
- ②英・数・国を優先して基礎固め
- ③理科・地歴・公民は授業を最大活用
- ④弱点は夏休み中を目安に克服
- ⑤得意分野は徐々に応用力養成へ

補習も始まりました。忙しいからこそスキマ時間をうまく使って効率よい勉強をしましょう。先日行われたマーク模試の復習はしましたか。模試は復習をしてこそ意味があります。

専門学校では6月からAO入試のエントリーが始まる学校もありますが、あせらず複数の学校を比較して、慎重に学校選びをしましょう。



次の文章は今春本校を卒業した第35回生が書いてくれた合格体験記からの抜粋です。今後の充実した学校生活を送るために、また進路実現するために参考にしてください。（「進路のしおり 資料編」は3年生には配付済み、2年生には来週配付の予定です。）

進学 近畿大学

センター試験を終えて自己採点すると、英語が4割、国語が6割でしたが、日本史は9割近い点数を取ることができました。近畿大学は100%無理だと思っていましたが、センター併用という入試方式があり、それはセンター試験の高得点1科目と大学独自の試験の点数を両方使って合否を判定する方式で、私は日本史の高得点を生かして、一時期あきらめかけていた近畿大学に無事合格することができました。センター試験を受けてよかったと思います。

この8ヶ月という短い期間で学力向上以外にもいろいろな大切なことを身につけることができたし、さまざまなことに気づかされました。ですから指定校で進路を決めようと思っている人もいますが、私はぜひ1年間一般入試まで受験勉強に真剣に励んでほしいと思っています。

就職 東リ株式会社

面倒だなと思うことでも日々の積み重ねが物を言うと思います。諦めたりさぼることは簡単ですが、経験を積み重ねていくことは難しいです。進学も就職もそれは変わりません。ですが、今自分が進みたいと思える道であるならば、その努力が報われるまで積み重ねることができる力があるはずです。

就職 株式会社千鳥屋宗家

進路を決める時に一番大事なものは悩むことです。できるだけたくさん悩んで、たくさん相談してみてください。そして決まった進路に全力で挑んでください。その経験があればこれから起こる困難もきっと乗り越えていけるはずです。